

本紙の記事に依つて

死体の身元判明する

鐵道縁首の懷中二錢の老人

變り果た夫の姿に妻女號泣

既報石城郡赤井村大字高萩字下代地内小玉川鐵橋で縊死を遂げた懷中二錢の男は身元判明せず平署檢親の結果屍体は村役場に引渡し假埋葬に附した處此の本紙記事を見た平町紺屋町二四、沼田セン(四)が平署に出頭して自分の夫は廿四日より行術不明になつたが常磐毎

日新聞の報じた衣類年齢等から考へて自分の亭主ではないかと思ふとの事に屍体を發掘して見せた處間違ひなく同人の夫伊達郡睦金村宇治内生れ沼田瀧賢(セ)と判明泣く屍体を引取つたが原因は三年前よりの失業で生活難に陥り夫れを悲觀した結果であると

町内を四區に分け失業者の救濟事業

小名濱町會が決定

石城郡小名濱町では昨二日午前九時より失業者救濟町營工事に關する町會を開會せる結果全町内下水路を四區に區別して工費一万八百圓を以つて排水路の改修並に同町西町より諫訪神社に可決し本月中旬頃より着工する豫定であると

依り罰金二十圓の略式命令に處せられたのに對し不服の申立をなした事件の第二回公判は本日午前十時より平區裁判所に於て中島判事係り市川檢事、渡邊書記立會の下に開廷本人及び被害者松本ノブを訊問した結果檢事より略式通り罰金二十

中學校にては本日第一學年の級長選舉を行へ左の如く決定した

(一組)遠藤赳夫 石田公俊(二組)山名光男 渡邊忠雄(三組)岡田軍治 志村憲助(四組)鈴木洋一郎 鈴木輝夫

『家の光』普及運動

平町で映畫講演會

石城産業組合が主催で

既報平町搔撻小路三十一番地自動車運轉手佐藤正壽(二)が去月四日平區裁判所に於て業務上過失傷害罪に

既報小名濱町で無錢飲食し逮捕された平町胡摩澤一〇

不前科二犯内藤鶴吉(二)は毎日新聞の報じた衣類年齢等から考へて自分の亭主ではないかと思ふとの事に屍体を引取つたが原因は三年前よりの失業で生活難に陥り夫れを悲觀した結果であると

依り罰金三十圓を窃取逃走した外四月には小名濱町菓子店國華堂より十圓を窃取し八月には平町六丁目菓子店野口武男外二軒より自轉車を窃取賣拂つて消費した事發覺した

赤井薬師で拾ひ物 平町大工町一六廣田良雄(二)君は去る卅一日闇仰井嶽薬師の祭禮見物に出掛け境内附近の雜踏する中で十一圓十九錢在中の革製財布を拾得し平署に届出た

湯殿山の祭り 平町六間門月山出羽湯殿山神社の秋期大祭は来る七、八の兩日執行されるが餘興として煙火奉納演藝等があると

近の難踏する中で十一圓十九錢在中の革製財布を拾得し平署に届出た

石城郡勿來町勿來炭礦坑夫佐藤六照(二)は昨年十一月十六日平區裁判所にて兵役法施行規則違反として科料十圓の略式命令に處せられたるも未だ完納せず本日逮捕狀に依つて平刑務所に留置された

△石城郡内郷村大字高坂字立野五十七番地菅野房江(四)は去月十一日同村村上婦と口論の末今朝吉妻ツル

の頭髪を掴みて引摺り全道に於て不注意の結果高サ

△双葉郡大久村大字大久字筒木原二十八番地自動車運轉手夏目二郎(二)は本年四月二十日大型自動車に乗客十六名を乗せ茨城縣筑波山道に於て不注意の結果高サ

△石城郡内郷村大字高坂字立野五十七番地菅野房江(四)は去月十一日同村村上婦と口論の末今朝吉妻ツル

の頭髪を掴みて引摺り全道に於て不注意の結果高サ

△同郡小名濱町字下町十五番地漁業馬上徳十郎(五)及

秀雄・藏澤義夫・山野邊正

六男信男

罰金不服

餘罪續々

無錢飲食の男

既報小名濱町で無錢飲食し

不前科二犯内藤鶴吉(二)は毎日新聞の報じた衣類年齢等から考へて自分の亭主ではないかと思ふとの事に屍体を引取つたが原因は三年前よりの失業で生活難に陥り夫れを悲觀した結果であると

依り罰金三十圓を窃取逃走した外四月には小名濱町菓子店國華堂より十圓を窃取し八月には平町六丁目菓子店野口武男外二軒より自轉車を窃取賣拂つて消費した事發覺した

赤井薬師で拾ひ物 平町大工町一六廣田良雄(二)君は去る卅一日闇仰井嶽薬師の祭禮見物に出掛け境内附近の難踏する中で十一圓十九錢在中の革製財布を拾得し平署に届出た

湯殿山の祭り 平町六間門月山出羽湯殿山神社の秋期大祭は来る七、八の兩日執行されるが餘興として煙火奉納演藝等があると

近の難踏する中で十一圓十九錢在中の革製財布を拾得し平署に届出た

△石城郡内郷村大字高坂字立野五十七番地菅野房江(四)は去月十一日同村村上

婦と口論の末今朝吉妻ツル

の頭髪を掴みて引摺り全

道に於て不注意の結果高サ

△双葉郡大久村大字大久字筒木原二十八番地自動車運

轉手夏目二郎(二)は本年四月二十日大型自動車に乗客

十六名を乗せ茨城縣筑波山道に於て不注意の結果高サ

△同郡小名濱町字下町十五番地漁業馬上徳十郎(五)及

秀雄・藏澤義夫・山野邊正

六男信男

△同郡小名濱町字下町十五番地漁業馬上徳十郎(五)及

秀雄・藏澤義夫・山野邊正

六男信男

明日のラヂオ

報豫氣氛

今晚は南東の風驟雨模様明日は北の風曇り驟雨

氣味

前九・三〇(子供の時間)

お話「見える眼見えぬ眼」

所

前九・一〇(築養料理「豆腐の味噌汁外」築養研究

所

前一・〇(宗教講話「人生と幸福」真宗佛光寺

所

前一・〇(講演「北満の菜能戸屋に雇れ中賣

所

前一・一(講曲講座「謡の道するべ」三四、實

所

前一・一(演説池内「水災救護について」公爵

所

前一・一(講演「時局に對する五十年記念祭」新交響樂團

所

前一・一(講演「明治神宮外苑球試合狀況」明治神宮外苑球

所

前一・〇(講演「蘇蘭士の話」邦司智磨

所

前一・〇(講演「芬蘭士の自覺奮起を望む」山本達雄

所

前一・一(講演「蘇蘭士の自覺奮起を望む」山本達雄

所

前一・一(講演「蘇蘭士の自覺奮起を望む」山本達雄

所

前一・一(講演「蘇蘭士の自覺奮起を望む」山本達雄

所

前一・一(講演「蘇蘭士の自覺奮起を望む」山本達雄

所



【禁轉載上演反映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百四十二席

女流劍客里見靜枝

面を被つた傳藏
里見主計は娘靜枝の立前
で茶を呑んでゐた、そこへ
來たは門人の山路金作

金『只今不思議な客が参
ました』

主『ハ、ア、不思議な客と
は誰か』

金『長谷部傳藏が参りました』
それを聞くと暫く考へ
てゐた主計

主『長谷部と云ふ者は知ら
ぬナ、それは何れの人か』

静『お父様お忘れなされま
したか、昨年茲に参りまし
て亂暴を致した三人組の浪
人でござります』

主『オ、あの無禮者か、そ
れが何用あつて見えたか合
點のゆかぬ事だの三人打揃
つて参つたか』

金『イエ長谷部一人に御座
います、これは先生や櫻井
殿に打据えられたを含み試
合に參つた事と存じます』

主『それは違ふ遺恨あつて
兔も角も會つて來意を聞く
であらう、客間に通して置
け』之から山路金作が長谷
部を案内致したは客間、傳
藏は四人を見て

傳『大層御當家はお立派に
見て參りましたが、御道場は

なりましたナ、お手入れを
なされたナ、お道場はども
昨年より手廣くなつた様に
思はれます、先生は御當代
の名人で夫に温厚なお方御

繁昌致す、嘸貴郎も御多忙
して

傳『相變らずあなたはお綺
麗だナ……イヤこれは先生
さアどうぞ此方へ』云はれ
て里見主計は徐にそれへ坐
して

枝はニッコリ笑つたがその
美しい事、櫻の花が咲いた
やう

傳『さて先生、昨年は意外
に傳藏が父に危害を加へる
こともあるまいと其處を引
取る、後に長谷部は両手を
付き、うやうやしく頭を下
げて

静『どうぞ御用がございま
したらお呼び下さいまし』

主『密事かな、コレ靜枝、
もこれは全く先生が傑出し
たし居る爲でござらう』な
ど妙に追笑を並べる、靜
枝はニッコリ笑つたがその
美しい事、櫻の花が咲いた
やう

傳『相變らずあなたはお綺
麗だナ……イヤこれは先生
さアどうぞ此方へ』云はれ
て里見主計は徐にそれへ坐
して

枝はニッコリ笑つたがその
美しい事、櫻の花が咲いた
やう

主『密事かな、コレ靜枝、
もこれは全く先生が傑出し
たし居る爲でござらう』な
ど妙に追笑を並べる、靜
枝はニッコリ笑つたがその
美しい事、櫻の花が咲いた
やう

日々に盛大となり芽出度い
ことが自然と世の中に知
れて教へを乞ふ者が續々押
寄せて參る北辰の其處を去
らず衆星これに共ふが如し
と申す事もあり、イヤどう
もこれは全く先生が傑出し
たし居る爲でござらう』な
ど妙に追笑を並べる、靜

枝はニッコリ笑つたがその
美しい事、櫻の花が咲いた
やう

主『密事かな、コレ靜枝、
もこれは全く先生が傑出し
たし居る爲でござらう』な
ど妙に追笑を並べる、靜

枝はニッコリ笑つたがその
美しい事、櫻の花が咲いた
やう



で御座らう』などと世辭を

云つてゐる、そこへ靜枝が
持つて出て來た

主『これは〜〜長谷部殿、
其の後は打絶えお目にもか
らなんだが、何時もお健
やかにて恐悦に存ずる』

傳『先生にも御健全にてお
過ごしなされるは剣道の爲
祝着至極』

主『それは〜〜芽出度い事
だ、手前も立花侯お邸に折
々参り若き人に剣術の指南
をいたし居る』

傳『その事も承りましてご
ざいます、ところで先生に
お願ひ申す事がござります
此儀御承引下さらば誠に有

主『それはどういふ事か、
主計の身にて出來得る事な

科人婦・科外
院坂井

町田町平
番九五五話電

科病柳花・科兒小・科內
院 沼 藤 醫 院

町屋紹七電話番五〇七

應需院入

古文病院

院長醫學士高
副院長新潟醫學士赤
藥局長藥劑師佐竹菊
耳鼻咽喉科清忠

代理店松崎商店
大室屋

ク ラ ク フ

蠅蚊・南京虫・油虫・羽虫・蚤・虱退治に
ほんの少しで一たまりもなく死ぬ
平町新川町(電一七二)

